

証券コード：6841
横河電機株式会社

2026年3月期 第2四半期 決算説明会

2025年11月4日

目次

1. 2026年3月期 第2四半期 連結決算の概要 P. 3

取締役 執行役 経理財務本部長 中嶋 倫子

2. 決算補足資料 P. 19

四半期別実績／営業外・特別損益

セグメント別受注残推移／制御サブセグメント別受注残推移

制御ビジネス規模別受注推移

研究開発費・減価償却費・設備投資

貸借対照表／株価の状況

3. GS2028取り組みの状況 ～成長を加速させるための中期経営計画～ P. 29

取締役 代表執行役社長 重野 邦正

2026年3月期 第2四半期 連結決算の概要

対象期間：2025年4月1日～2025年9月30日

中嶋 倫子

取締役 執行役 経理財務本部長

2025年11月4日

■ 第2四半期実績：増収増益

サマリー 受注・売上・営業利益は、対前年で円高に推移した為替の影響を受けながらも増加

セグメント別 制御 増収増益

測定器 売上は増収、営業利益は前年同期並み

新事業他 前年同期並み

■ 通期業績予想：修正あり

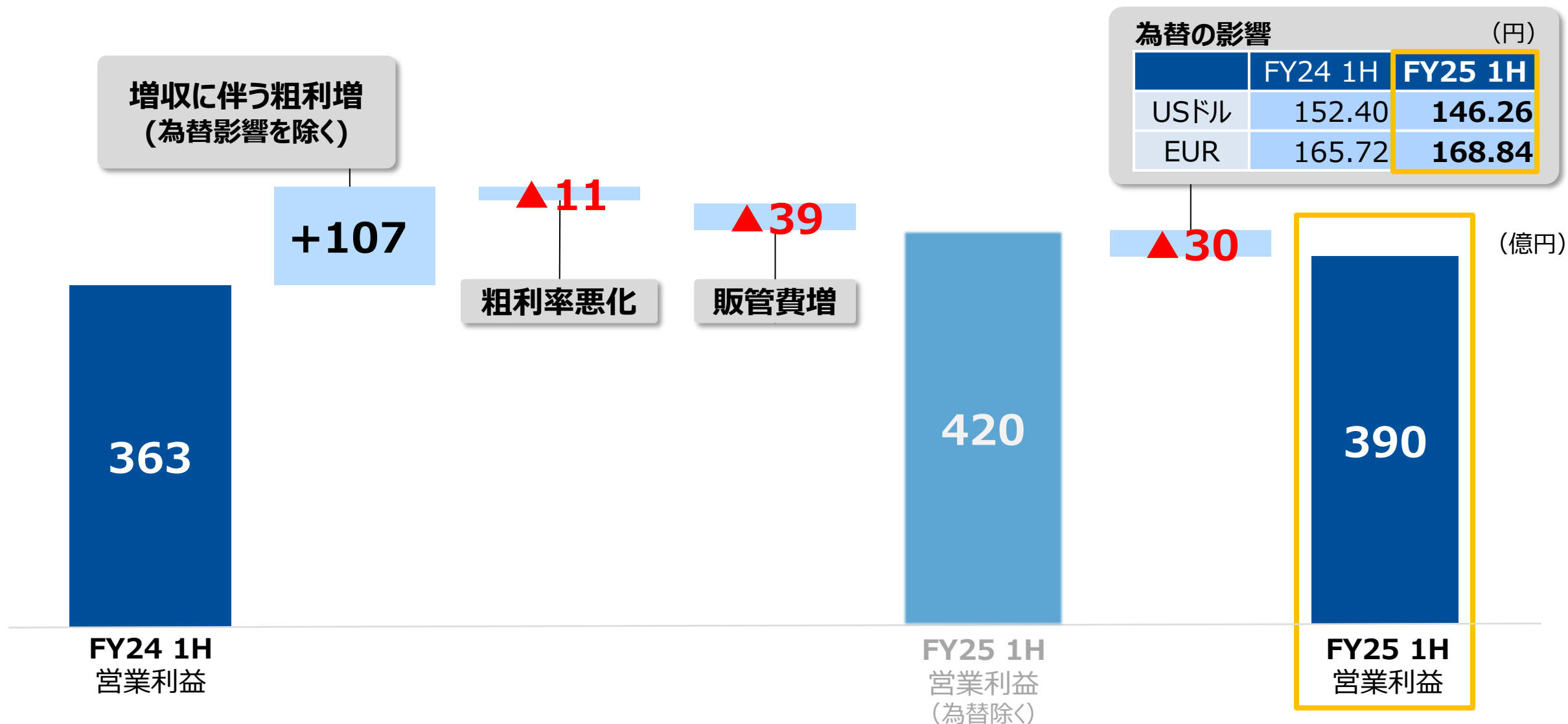
為替レート前提の見直し（1USD=140.00円 ➡ 145.00円）

決算サマリー（前年同期比）

- ◆受注・売上：受注は複数の大口案件の獲得等により**増加**（除・為替影響：+170億円、+5.8%）
売上は豊富な受注残を背景に**増収**（除・為替影響：+223億円、+8.4%）
- ◆営業利益：主に増収に伴う粗利増により**増益**（除・為替影響：+57億円、+15.7%）

	FY24 1H	FY25 1H	差 異	増減率	為替影響	(億円)
受 注 高	2,910	3,004	+95	+3.3%	▲75	
売 上 高	2,666	2,820	+154	+5.8%	▲69	
営 業 利 益	363	390	+27	+7.4%	▲30	
R O S (%)	13.6	13.8	+0.2pt	—	—	
経 常 利 益	359	397	+38	+10.6%	▲32	
親会社株主に帰属 する中間純利益	246	294	+48	+19.5%	▲28	
為替レート 1米ドル=	152.40円	146.26円	▲6.14円	—	—	

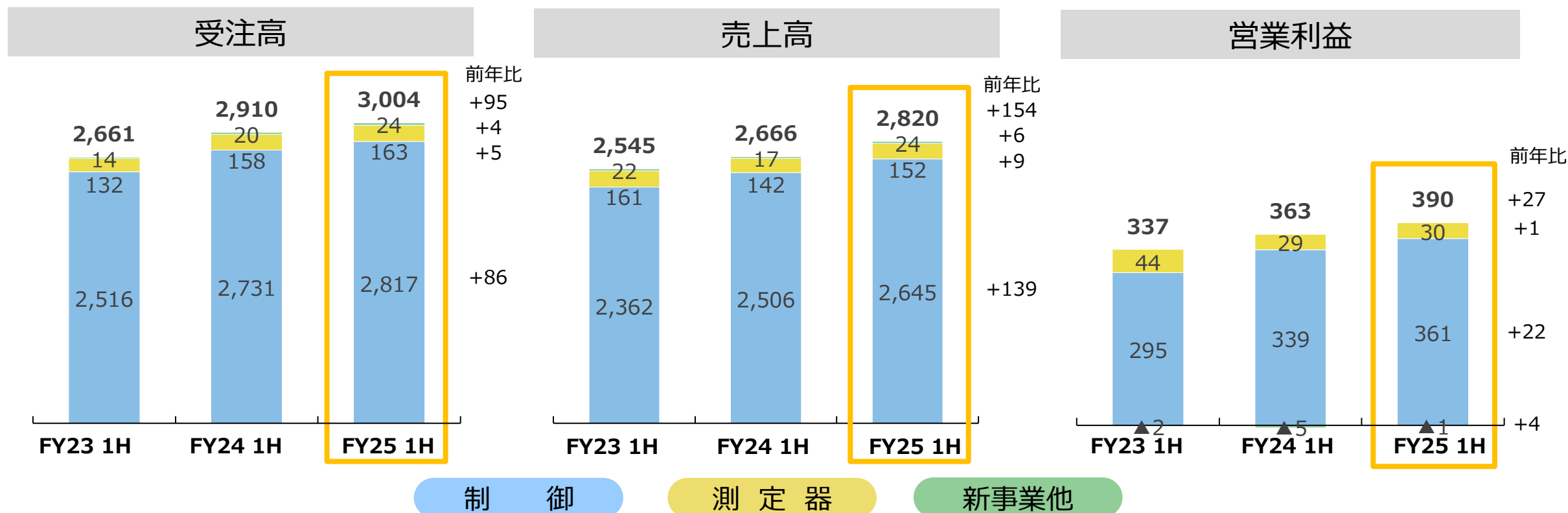
営業利益分析（前年同期比）



セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆制御事業 : 受注は増加 (除・為替影響 : +157億円 +5.7%)
売上は増収 (除・為替影響 : +203億円 +8.1%)
営業利益は増益 (除・為替影響 : +48億円 +14.2%)
- ◆測定器事業 : 受注は増加、売上は増収 (除・為替影響 : 受注+9億円 +5.5%、売上+13億円 +9.1%)
営業利益は前年同期並み (除・為替影響 : +4億円 +14.7%)

(億円)



制御地域別 受注・売上高

- ◆主に欧州、日本、東南アジアでの大口案件の増加に伴い、受注は増加
中東は、前年同期の大口受注の反動がありつつも、為替影響を除くと前年同期並み

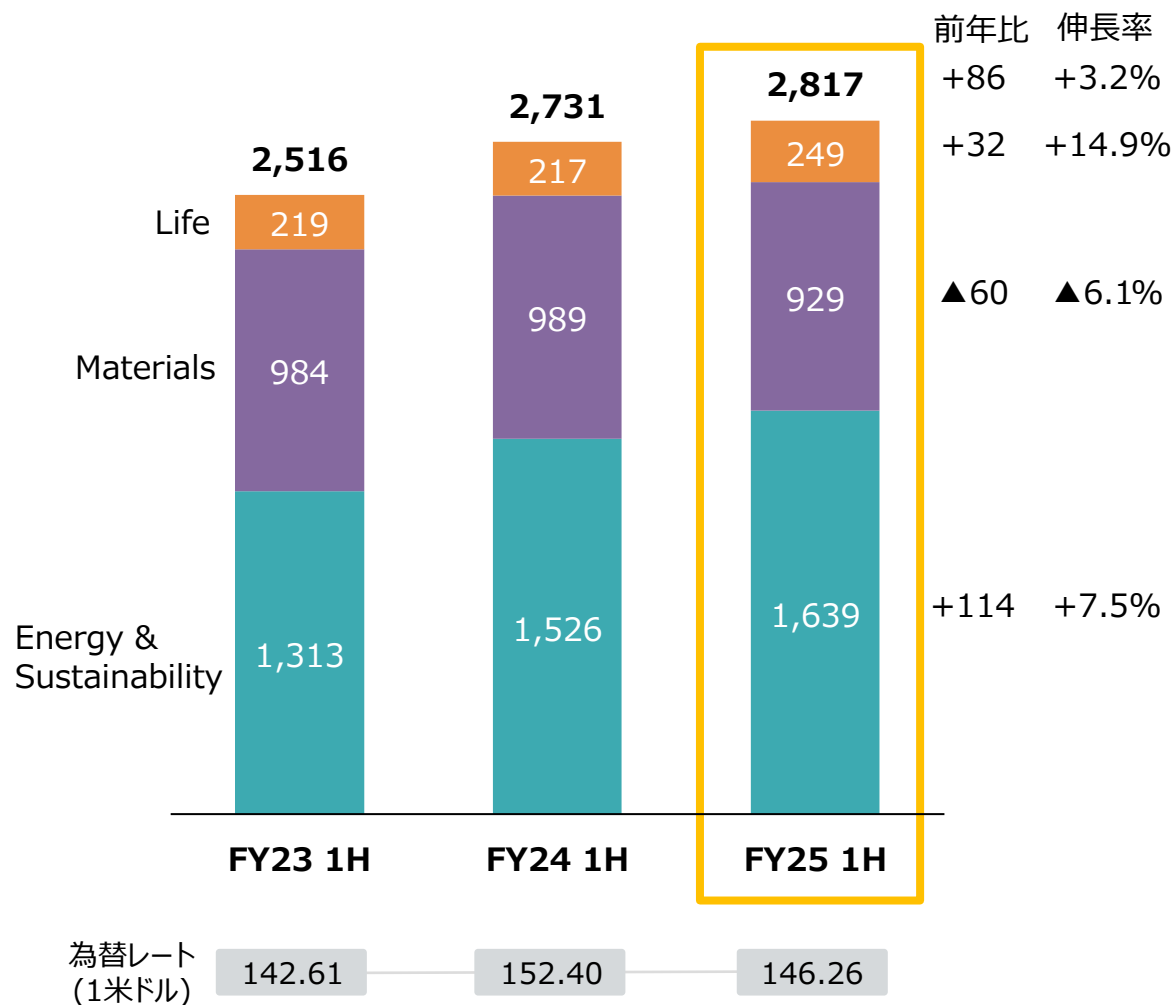
(億円)

受注高	FY24 1H (A)	FY25 1H (B)	前年同期比 (B-A)
日本	662	720	+58
アジア	872	864	▲8
(東南アジア・ 極東)	(396)	(443)	(+47)
(中国)	(312)	(295)	(▲17)
(インド)	(165)	(127)	(▲38)
欧州・CIS	214	274	+60
中東・アフリカ	692	653	▲38
北米	199	209	+9
中南米	92	97	+5
海外小計	2,070	2,098	+28
合計	2,731	2,817	+86
為替レート 1米ドル=	152.40円	146.26円	▲6.14円

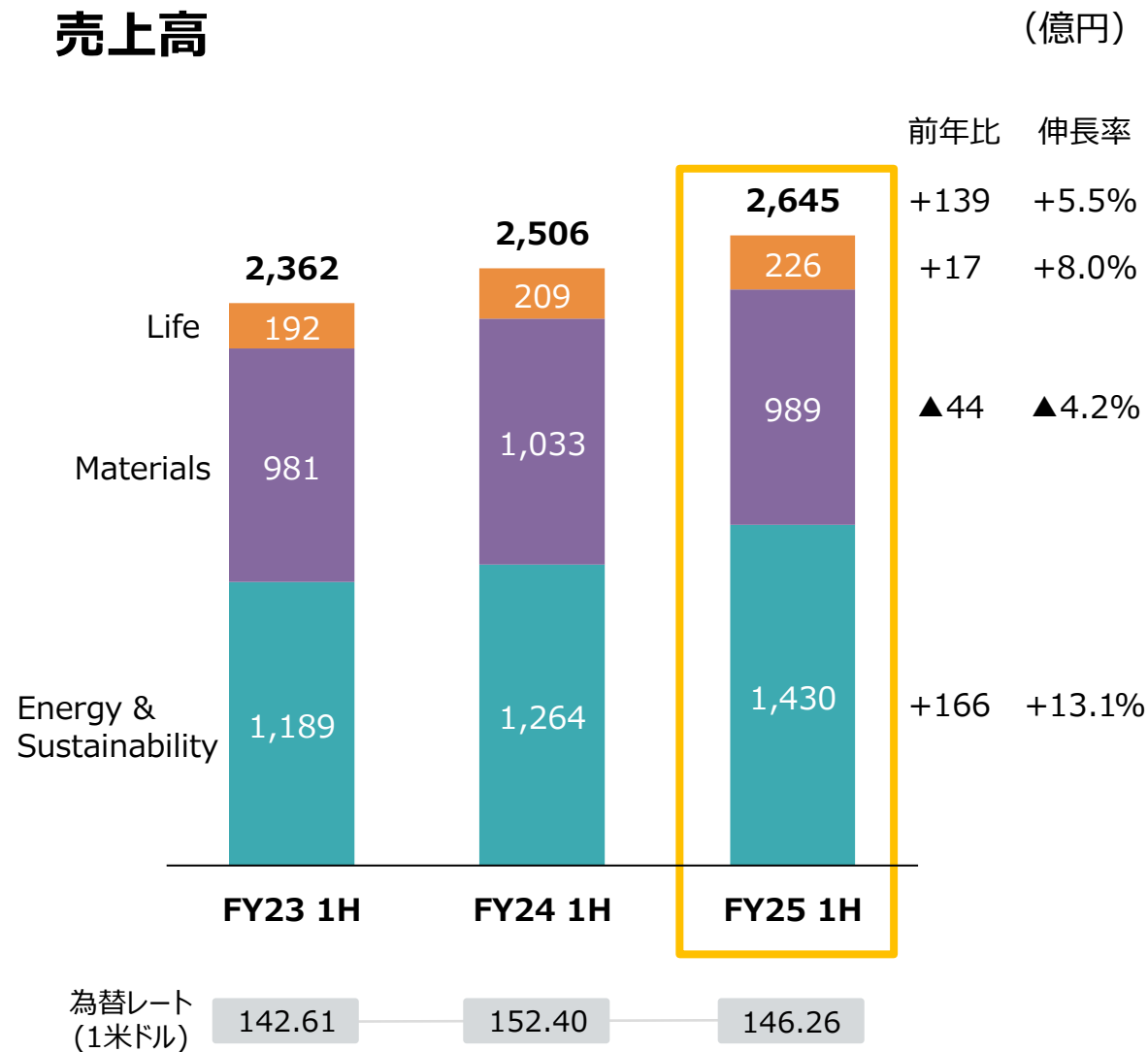
売上高	FY24 1H (A)	FY25 1H (B)	前年同期比 (B-A)
日本	621	697	+76
アジア	880	792	▲87
(東南アジア・ 極東)	(393)	(382)	(▲11)
(中国)	(361)	(293)	(▲68)
(インド)	(126)	(117)	(▲8)
欧州・CIS	250	305	+56
中東・アフリカ	407	520	+113
北米	252	247	▲5
中南米	98	83	▲14
海外小計	1,885	1,948	+62
合計	2,506	2,645	+139
為替レート 1米ドル=	152.40円	146.26円	▲6.14円

制御サブセグメント別 受注・売上高

受注高



売上高

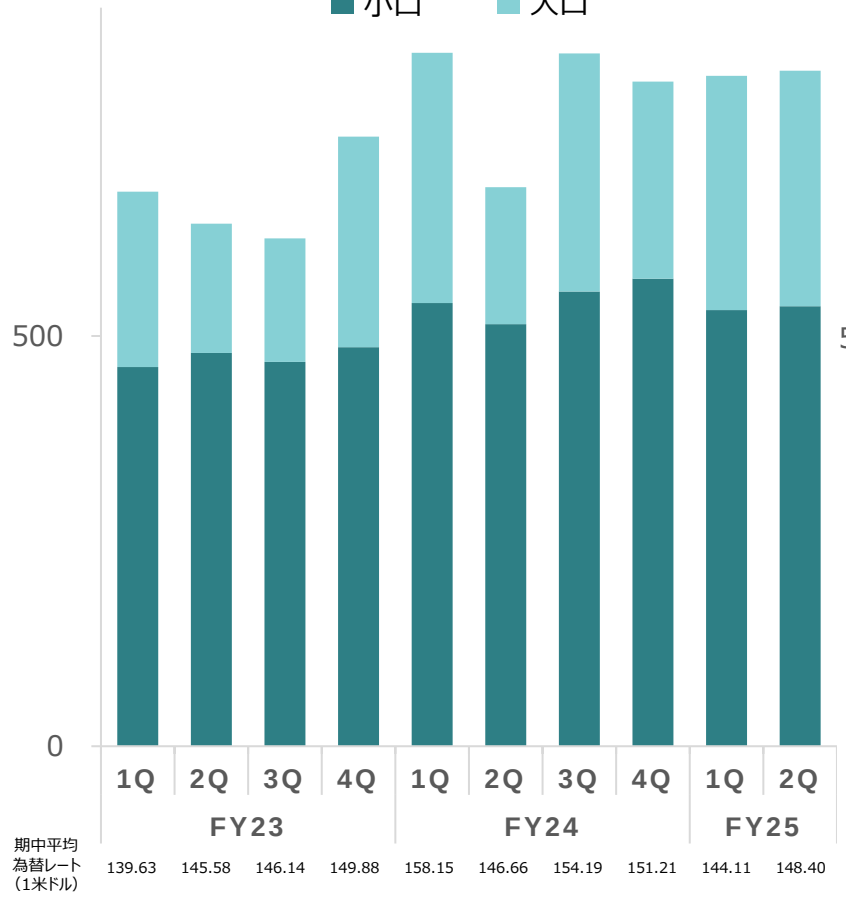


制御サブセグメント 規模別受注

(億円)

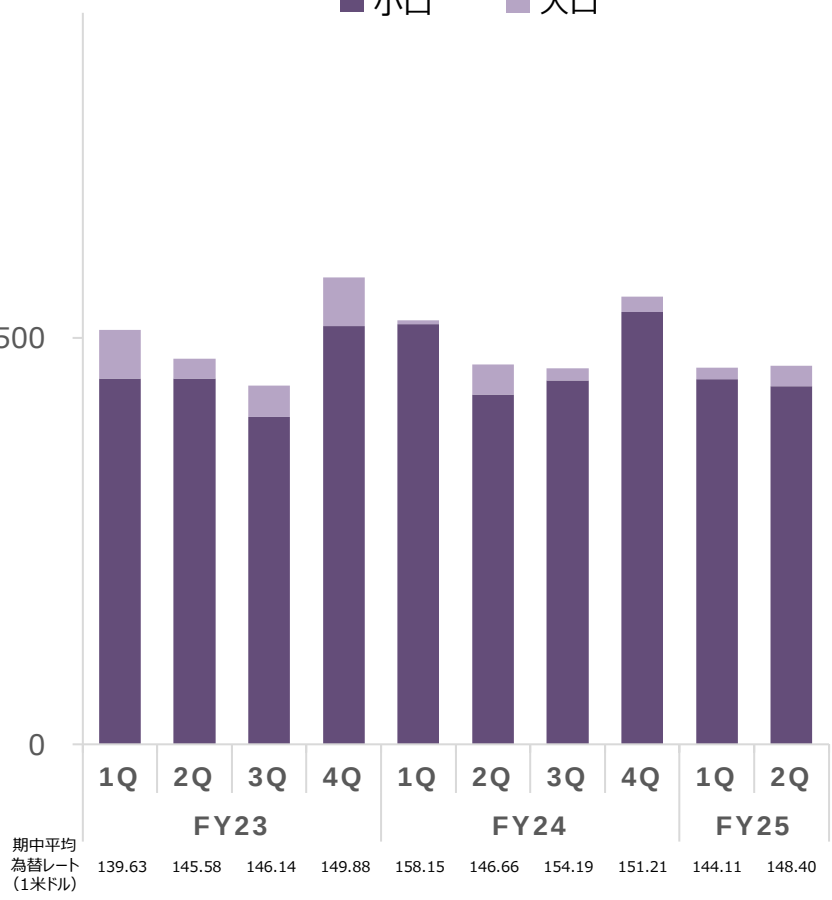
Energy & Sustainability

■ 小口 ■ 大口



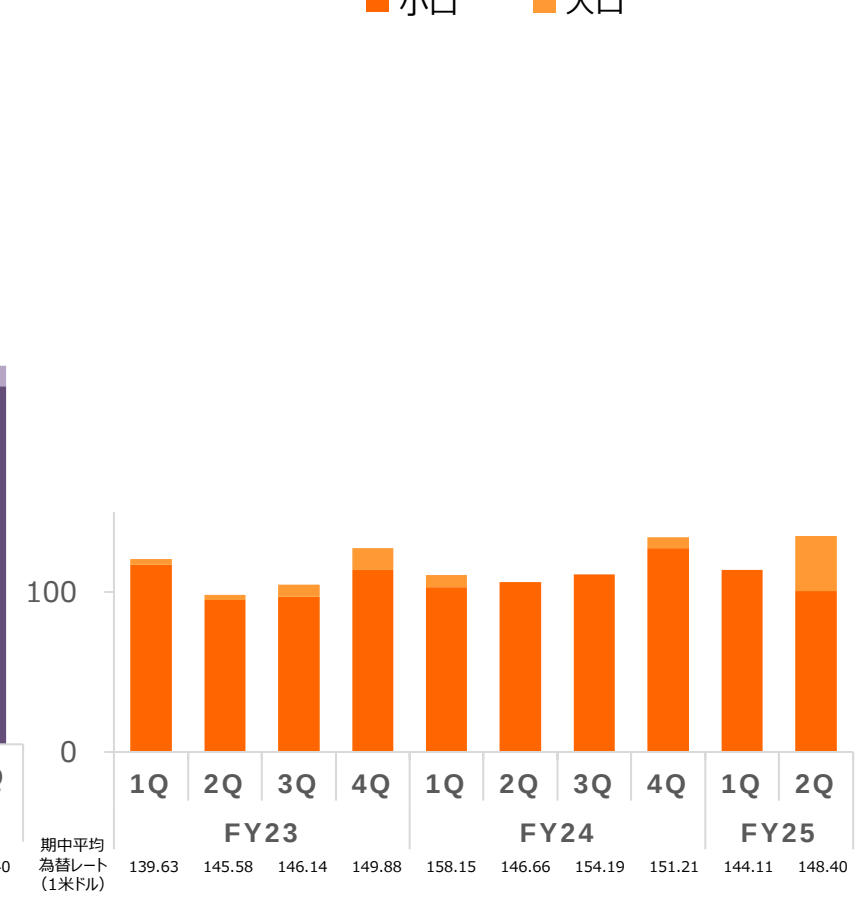
Materials

■ 小口 ■ 大口



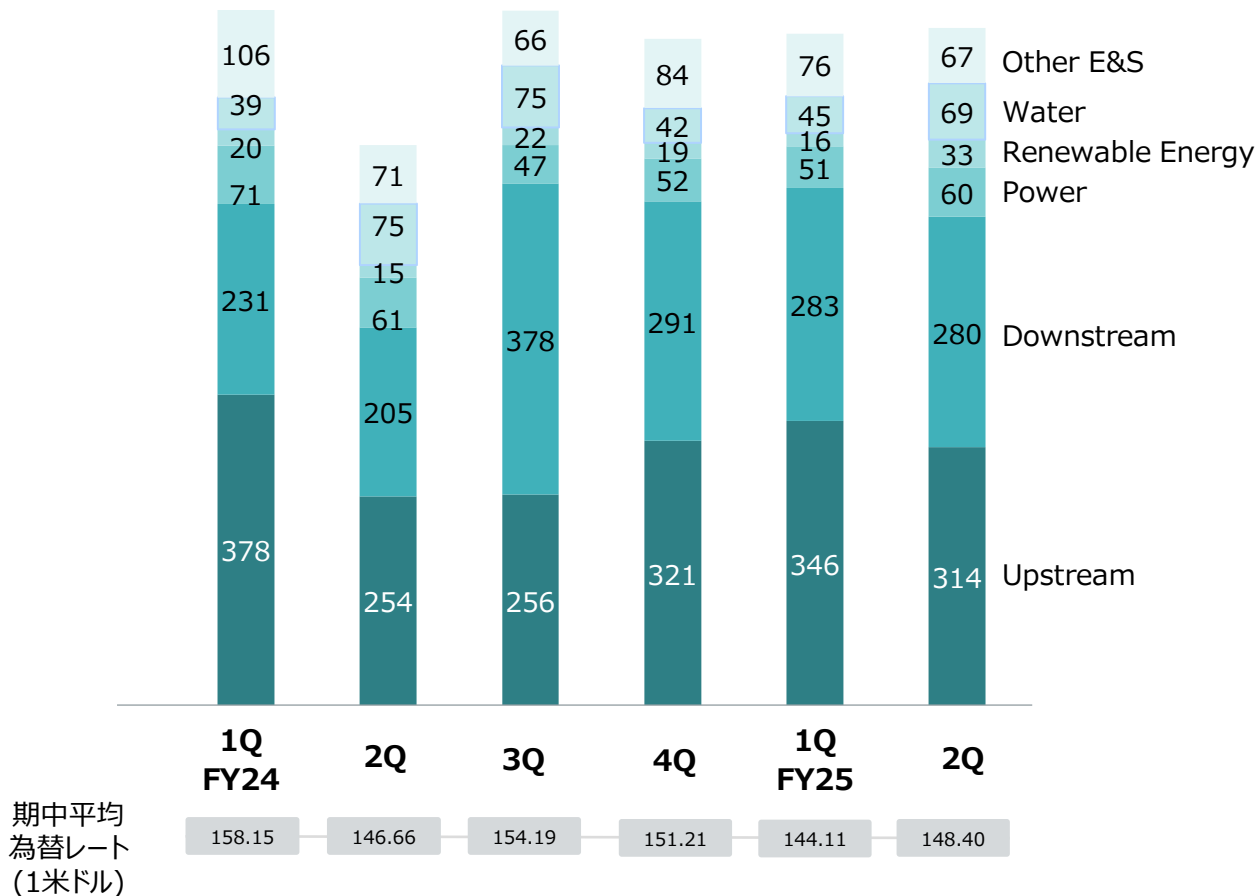
Life

■ 小口 ■ 大口



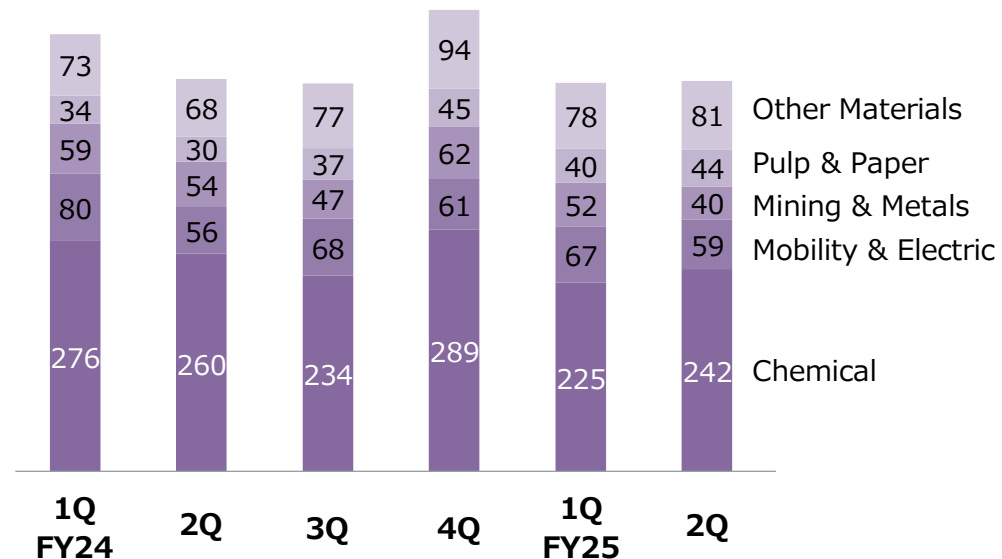
制御業種別 受注

Energy & Sustainability

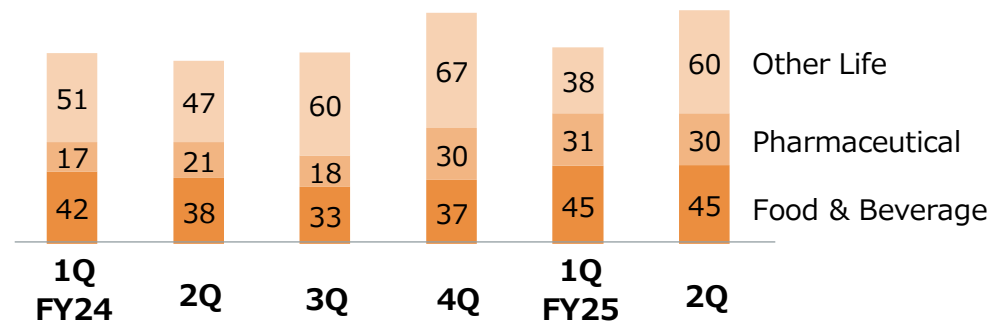


Materials

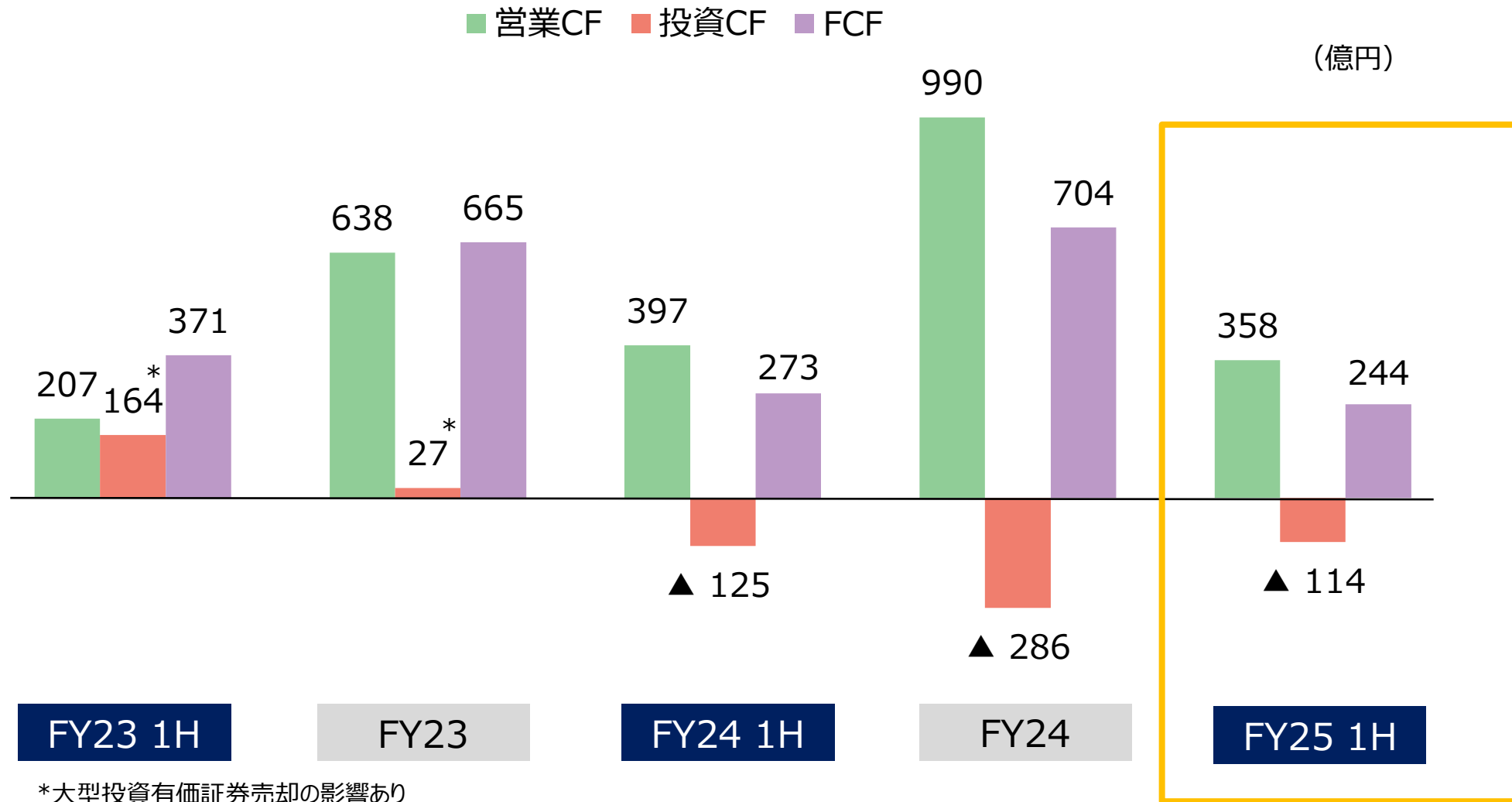
(億円)



Life



キャッシュ・フロー

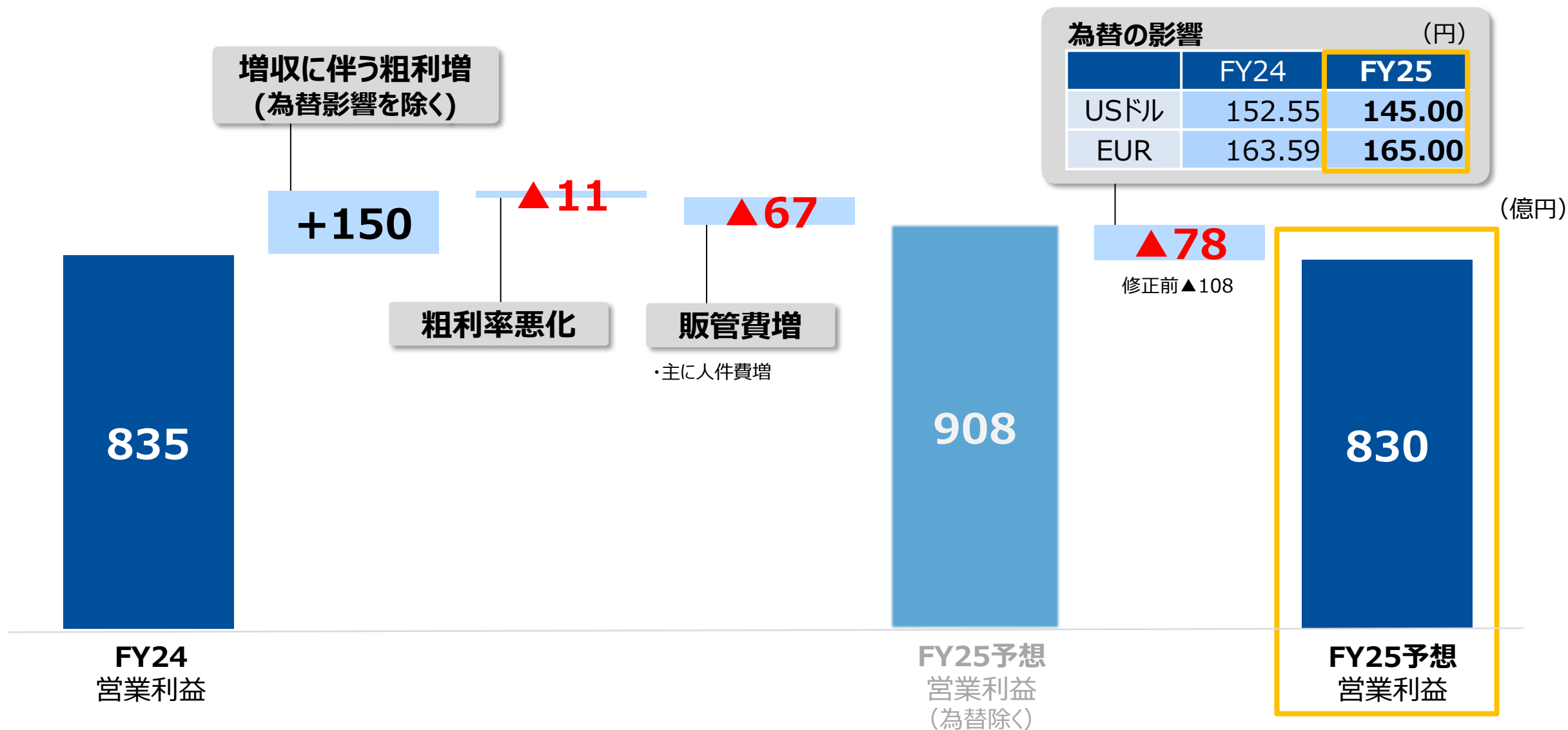


FY25業績予想（修正あり）

◆為替レート前提の見直し（1USD=140.00円 ➡ 145.00円）

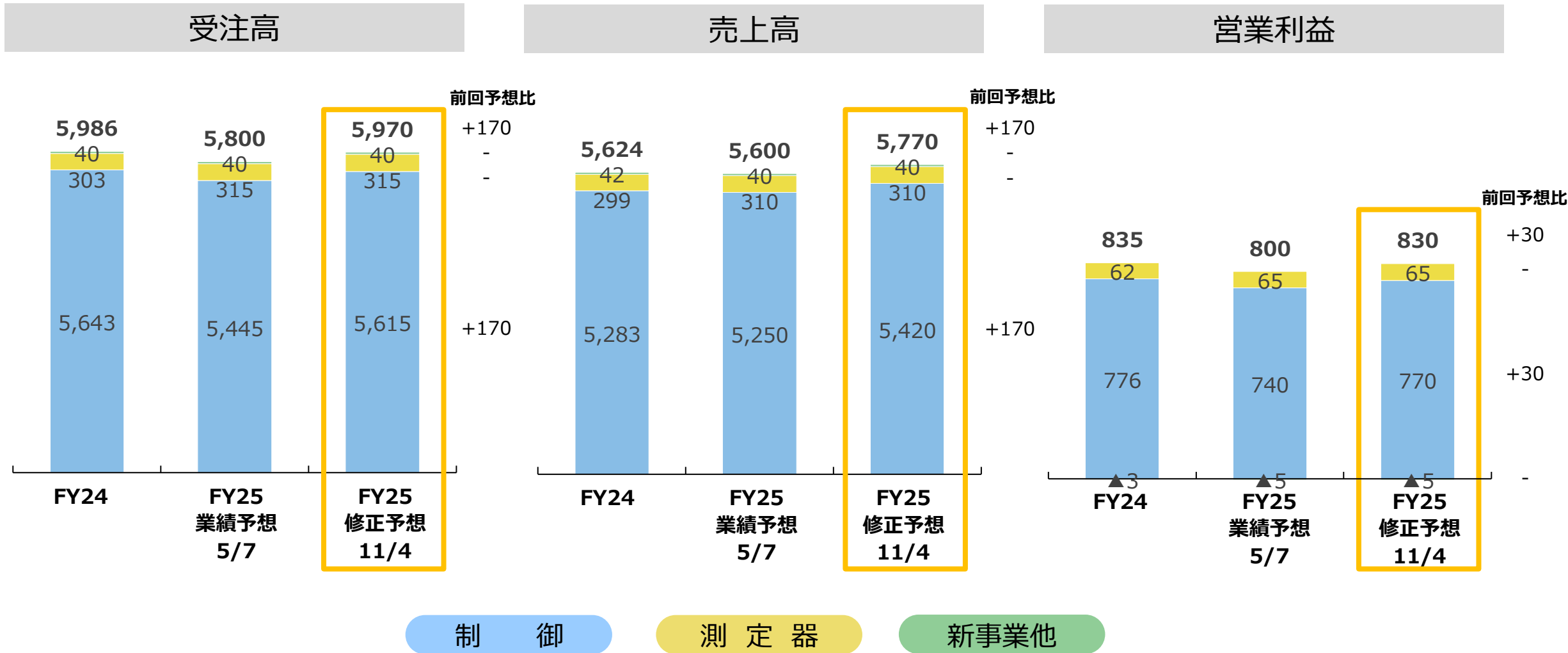
(億円)	FY24 (A)	FY25予想 5/7(B)	FY25予想 11/4(C)	前回予想比 (C-B)	前年比 (C-A)	伸長率 (C/A-1)
受 注 高	5,986	5,800	5,970	+170	▲16	▲0.3%
売 上 高	5,624	5,600	5,770	+170	+146	+2.6%
営 業 利 益	835	800	830	+30	▲5	▲0.6%
R O S (%)	14.9	14.3	14.4	+0.1pt	▲0.5pt	-
経 常 利 益	854	800	830	+30	▲24	▲2.8%
税 引 前 利 益	785	800	810	+10	+25	+3.1%
法 人 税 等	264	275	265	▲10	+1	+0.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	521	525	545	+20	+24	+4.6%
EPS(円)	200.41	202.81	213.56	+10.75	+13.15	-
為替レート	1米ドル=	140.00円	145.00円	+5.00円	▲7.55円	-

営業利益分析 予想（修正あり）



セグメント別 受注・売上・営業利益 予想（修正あり）

（億円）



制御地域別 受注・売上高 予想（修正あり）

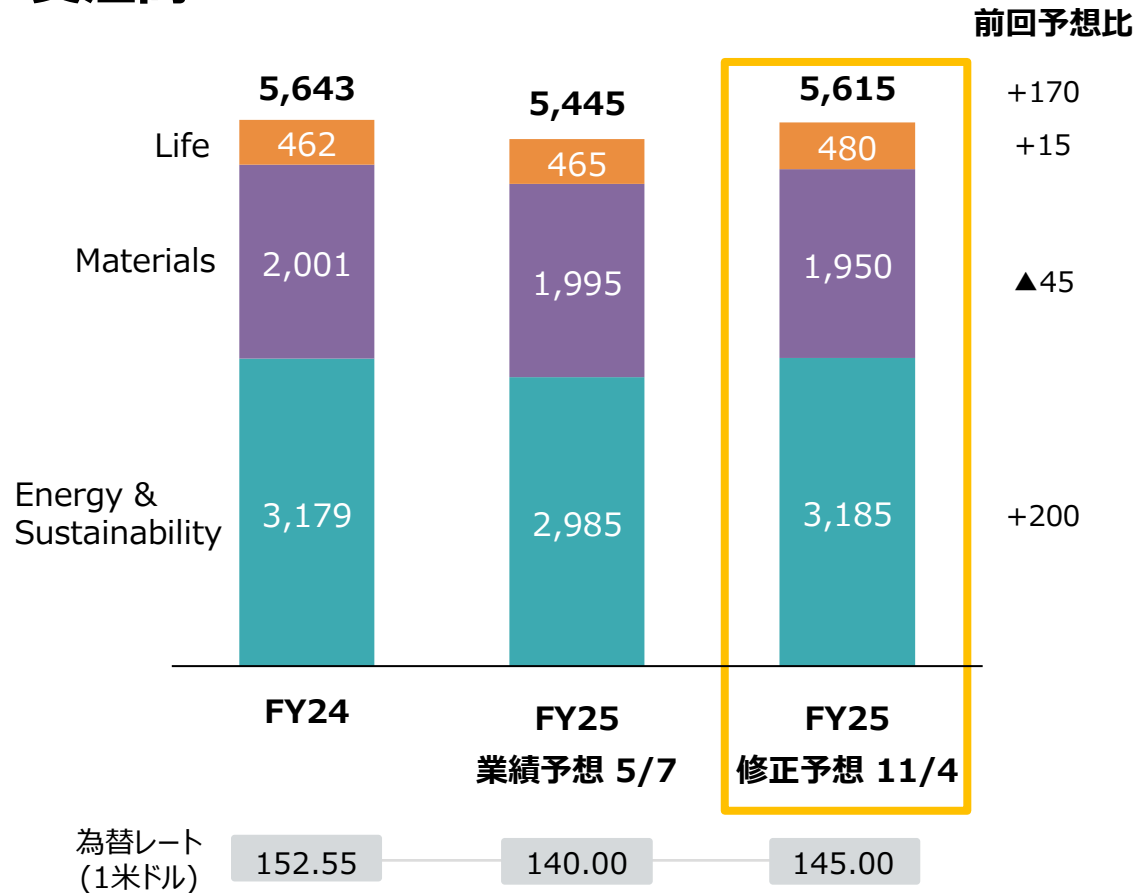
（億円）

受注高	FY24 (A)	FY25予想 (B)	前年比 (B-A)
日本	1,388	1,470	+82
アジア	1,657	1,640	▲17
（東南アジア・ 極東）	(792)	(780)	(▲12)
（中国）	(571)	(565)	(▲6)
（インド）	(294)	(295)	(+1)
欧州・CIS	606	615	+9
中東・アフリカ	1,313	1,185	▲128
北米	497	520	+23
中南米	182	185	+3
海外小計	4,255	4,145	▲110
合計	5,643	5,615	▲28
為替レート 1米ドル=	152.55円	145.00円	▲7.55円

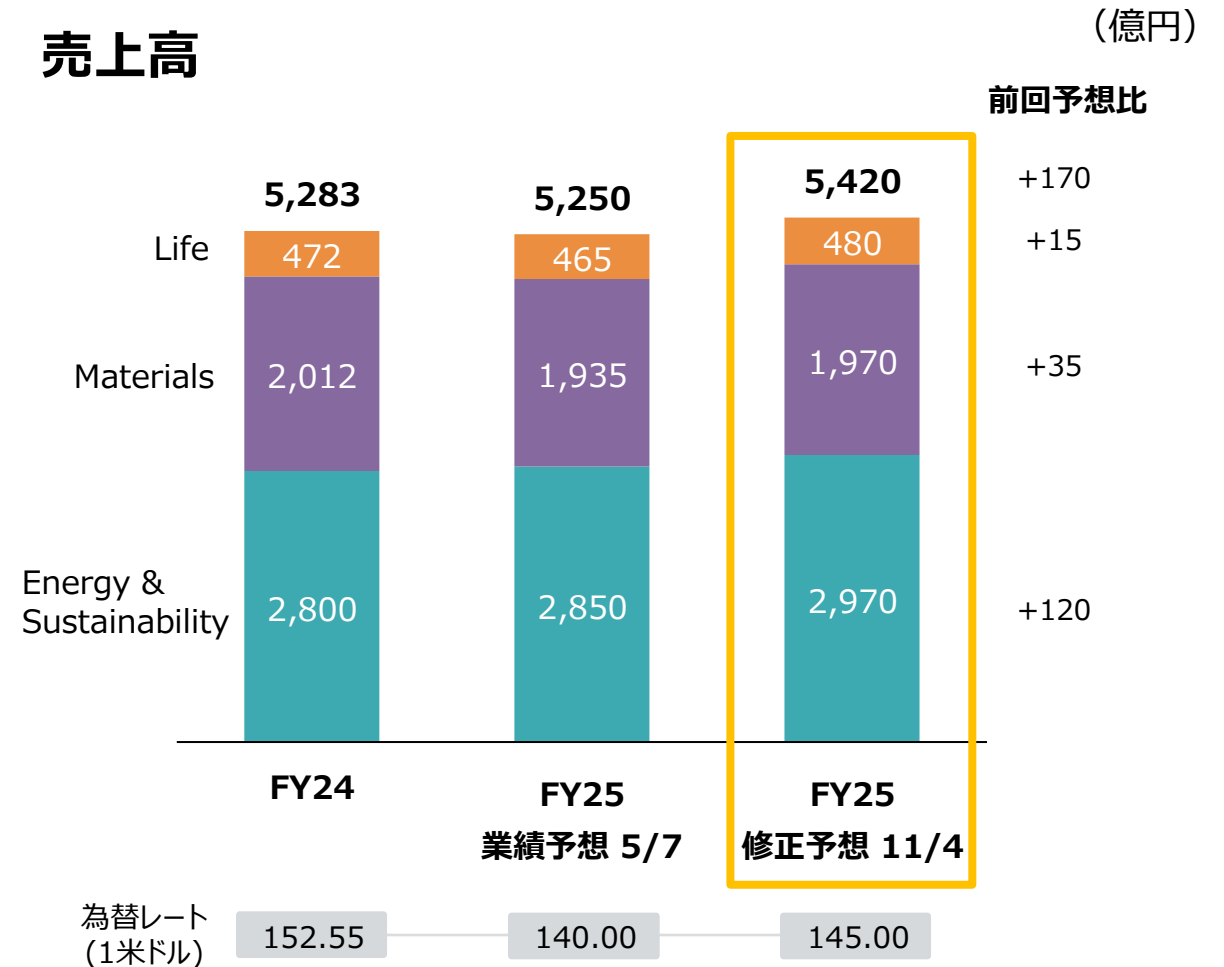
売上高	FY24 (A)	FY25予想 (B)	前年比 (B-A)
日本	1,355	1,415	+60
アジア	1,735	1,615	▲120
（東南アジア・ 極東）	(810)	(795)	(▲15)
（中国）	(640)	(555)	(▲85)
（インド）	(284)	(265)	(▲19)
欧州・CIS	526	550	+24
中東・アフリカ	968	1,170	+202
北米	504	490	▲14
中南米	194	180	▲14
海外小計	3,928	4,005	+77
合計	5,283	5,420	+137
為替レート 1米ドル=	152.55円	145.00円	▲7.55円

制御サブセグメント別 受注・売上高 予想（修正あり）

受注高

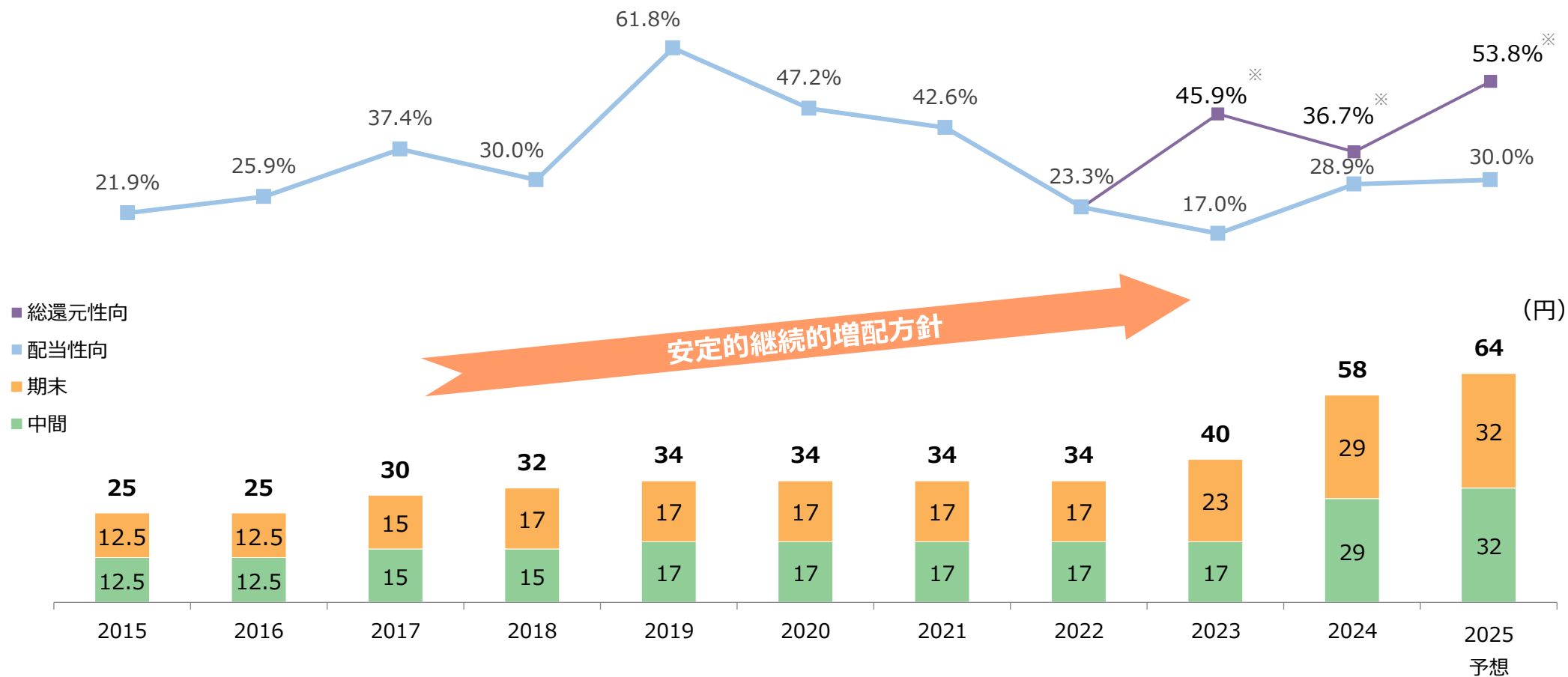


売上高



株主還元

- ◆ 1株当たり中間配当金は32円を決議（FY25年間配当予想修正なし）
- ◆ 200億円を上限に市場買付により当社普通株式を取得中（取得期間：2025年3月5日～2025年12月末）



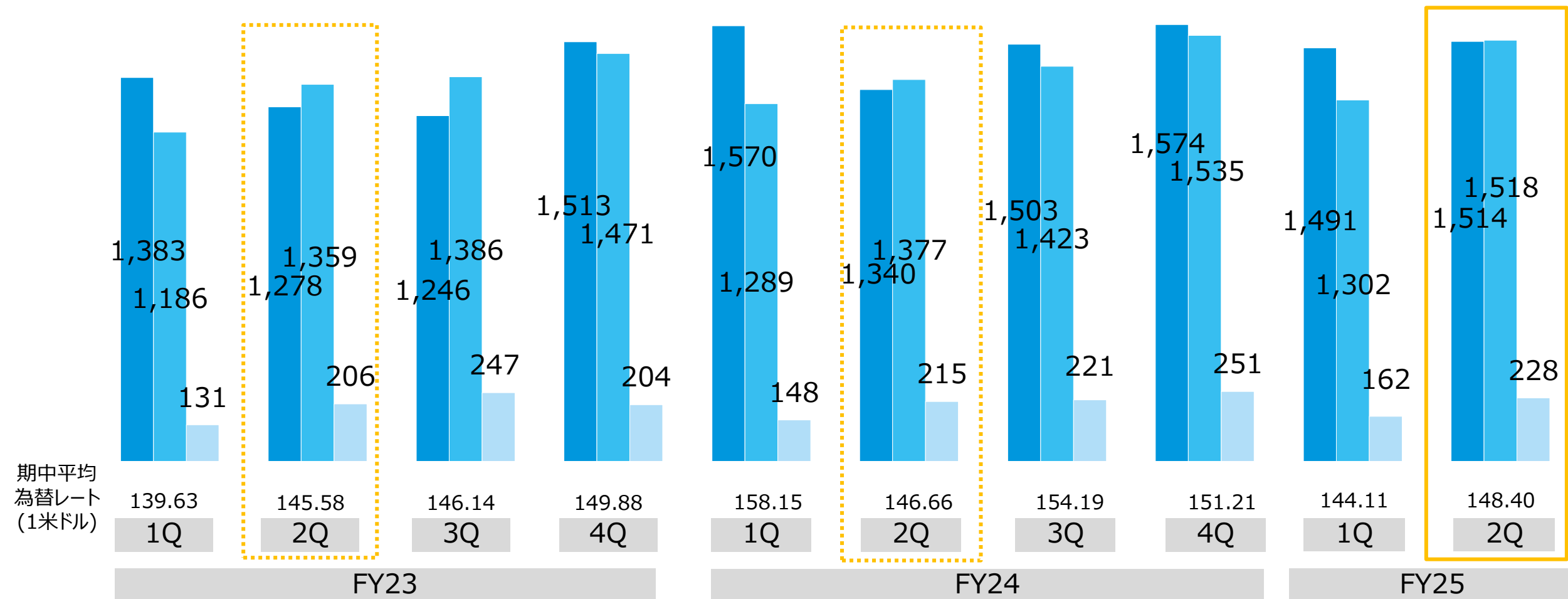
決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・セグメント別受注残推移
- ・制御サブセグメント別受注残推移
- ・制御ビジネス規模別受注推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

補足：四半期別実績

■ 受注 ■ 売上 ■ 営業利益

(億円)

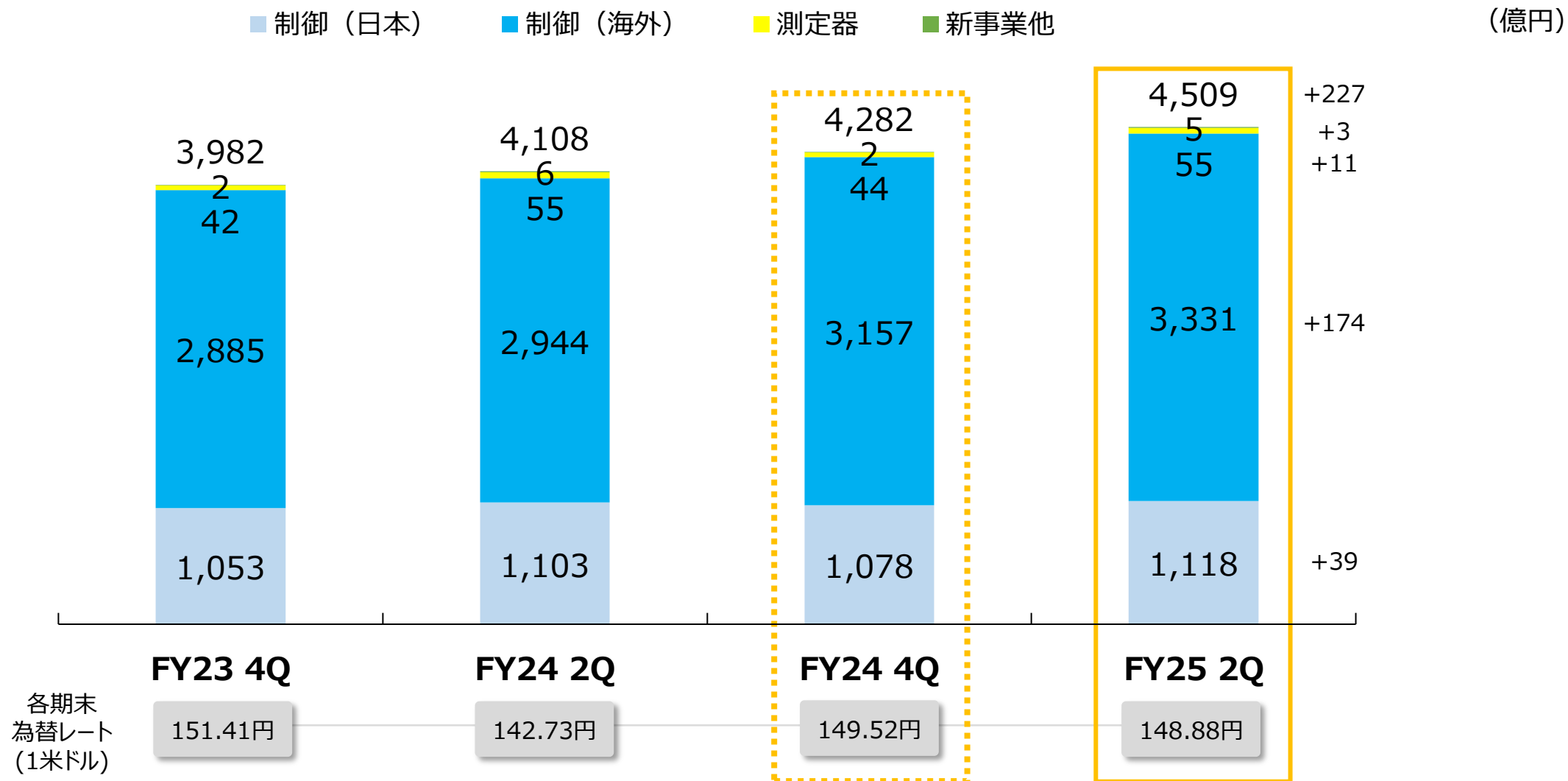


補足：営業外・特別損益

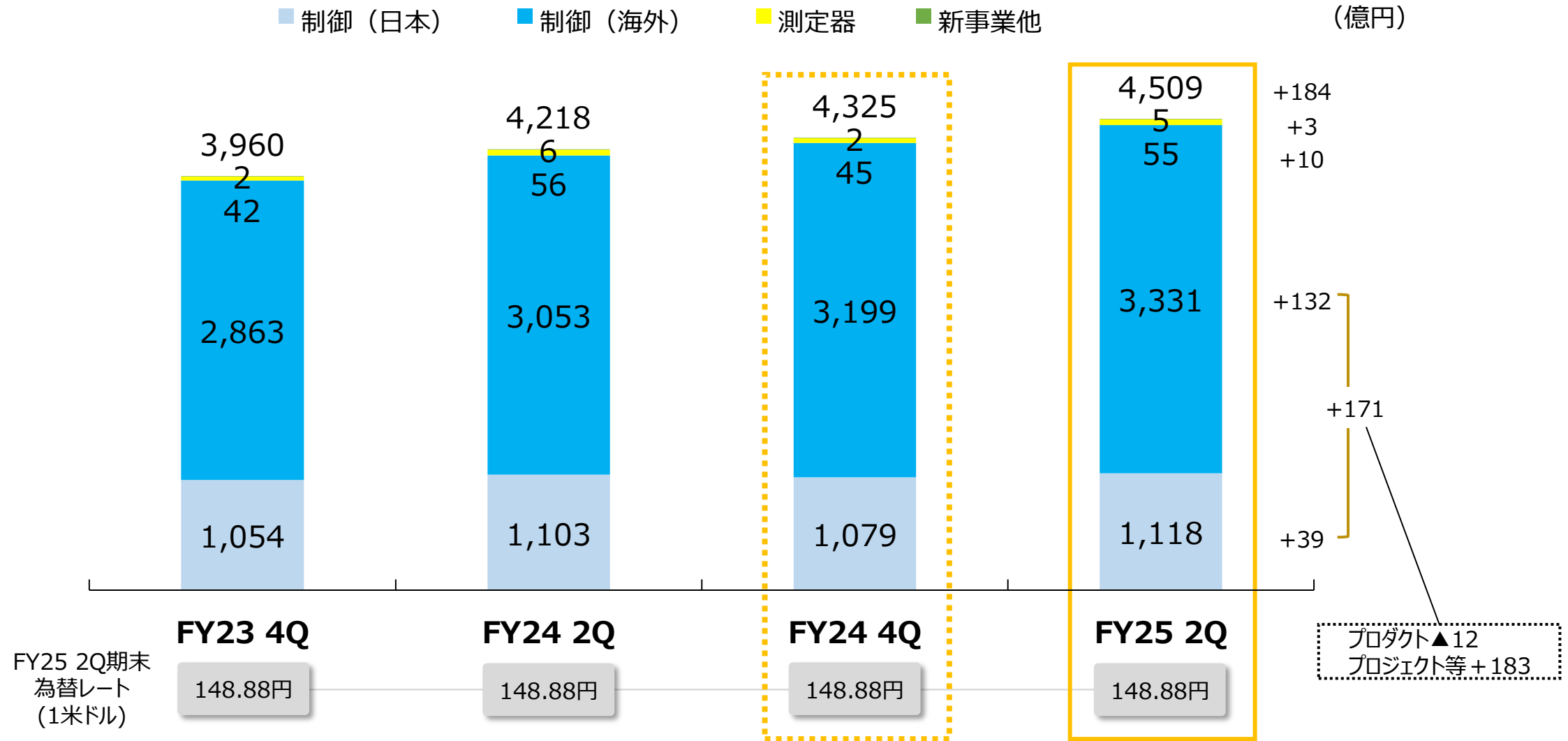
	FY24 1H	FY25 1H	(億円)
営 業 利 益	363	390	
営 業 外 収 益	36	34	
営 業 外 費 用	40	27	
経 常 利 益	359	397	
特 別 利 益	30	4	
特 別 損 失	20	22	
税 引 前 利 益	370	379	
法 人 税 等	103	69	
非支配株主に帰属する 中 間 純 利 益	21	16	
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	246	294	
(税負担率)	27.8%	18.3%	

【特別利益】
FY24 1H：固定資産売却益 29

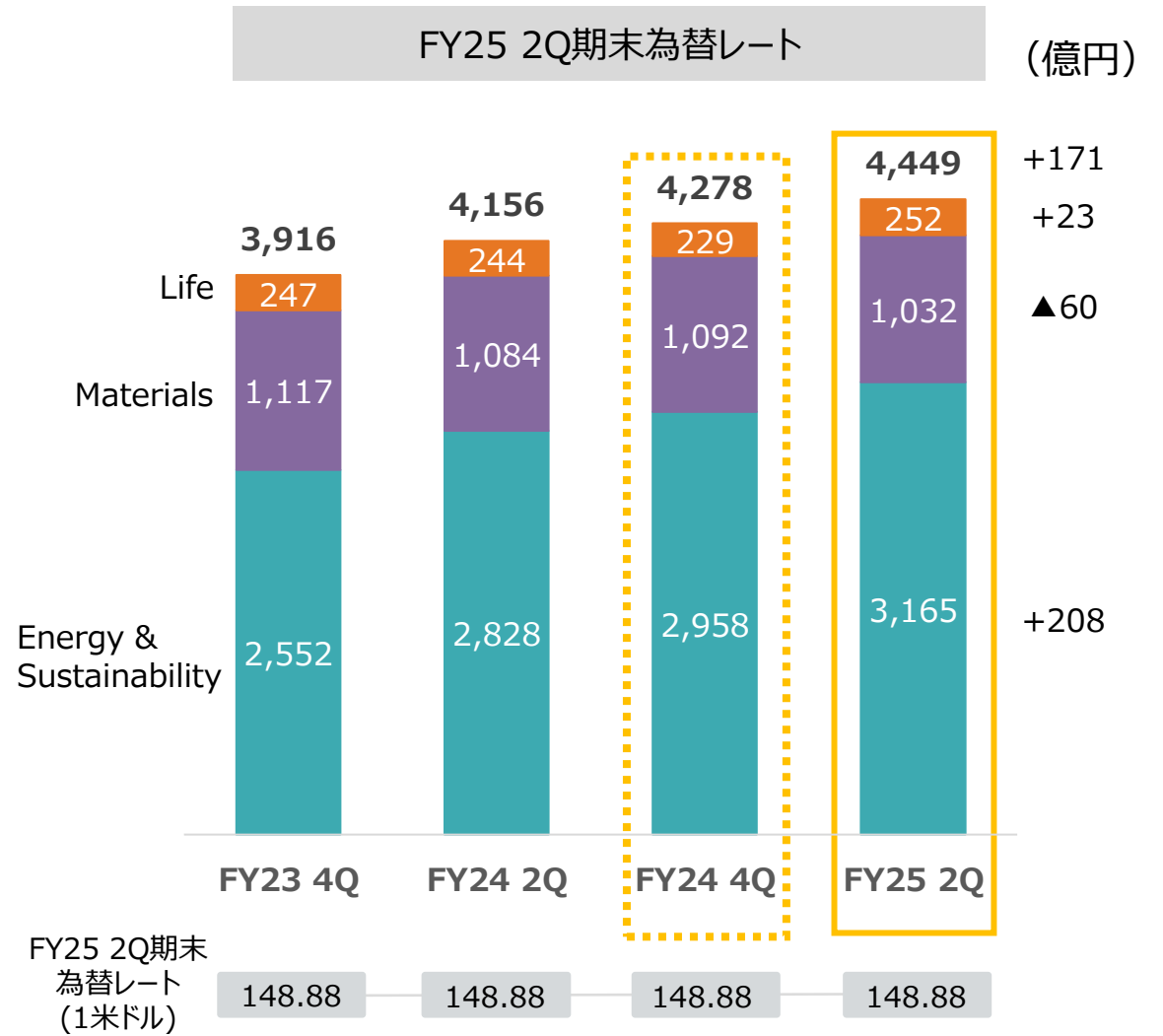
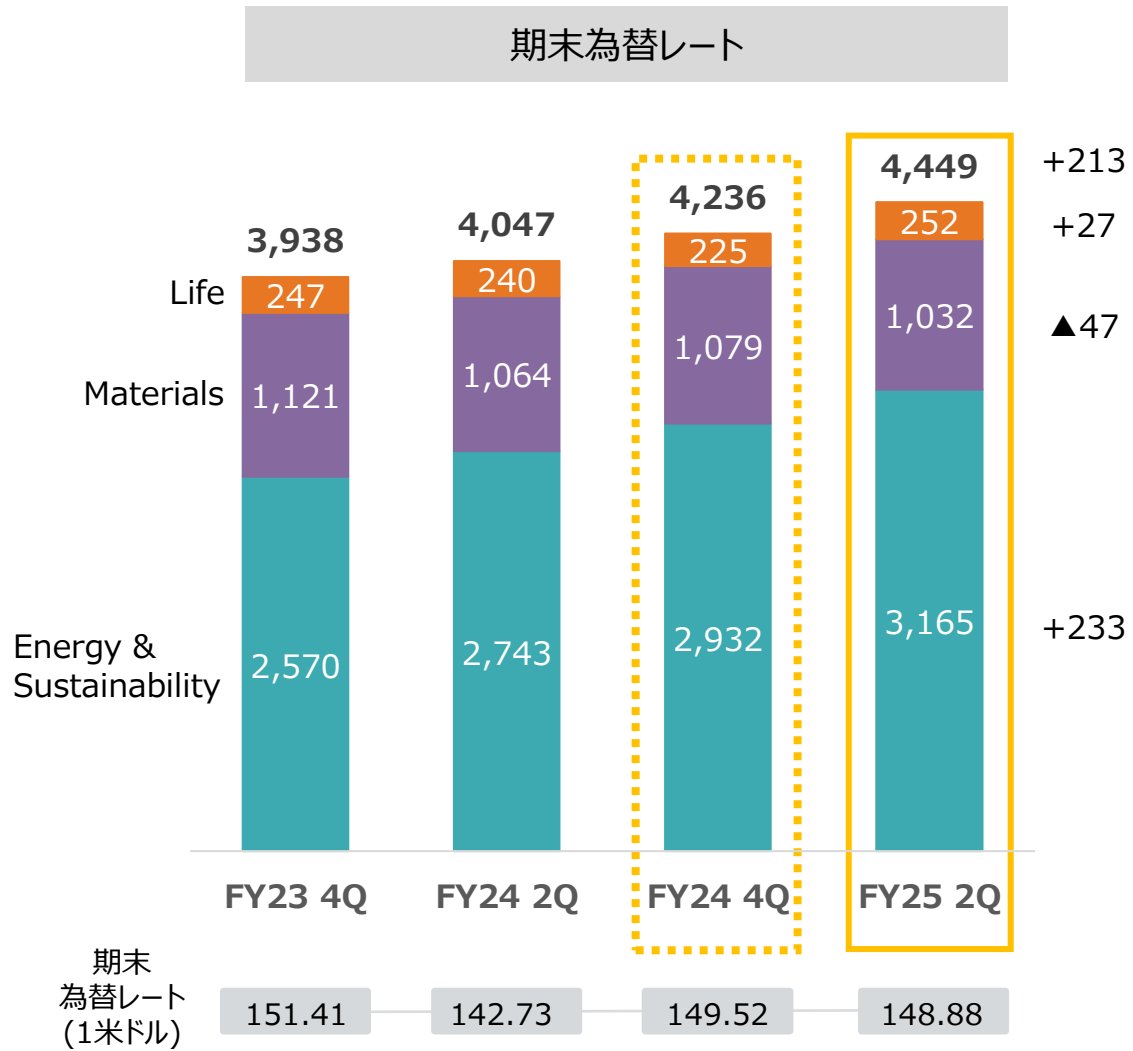
補足：セグメント別 受注残推移



補足：セグメント別 受注残推移 *FY25 2Q期末為替レート換算

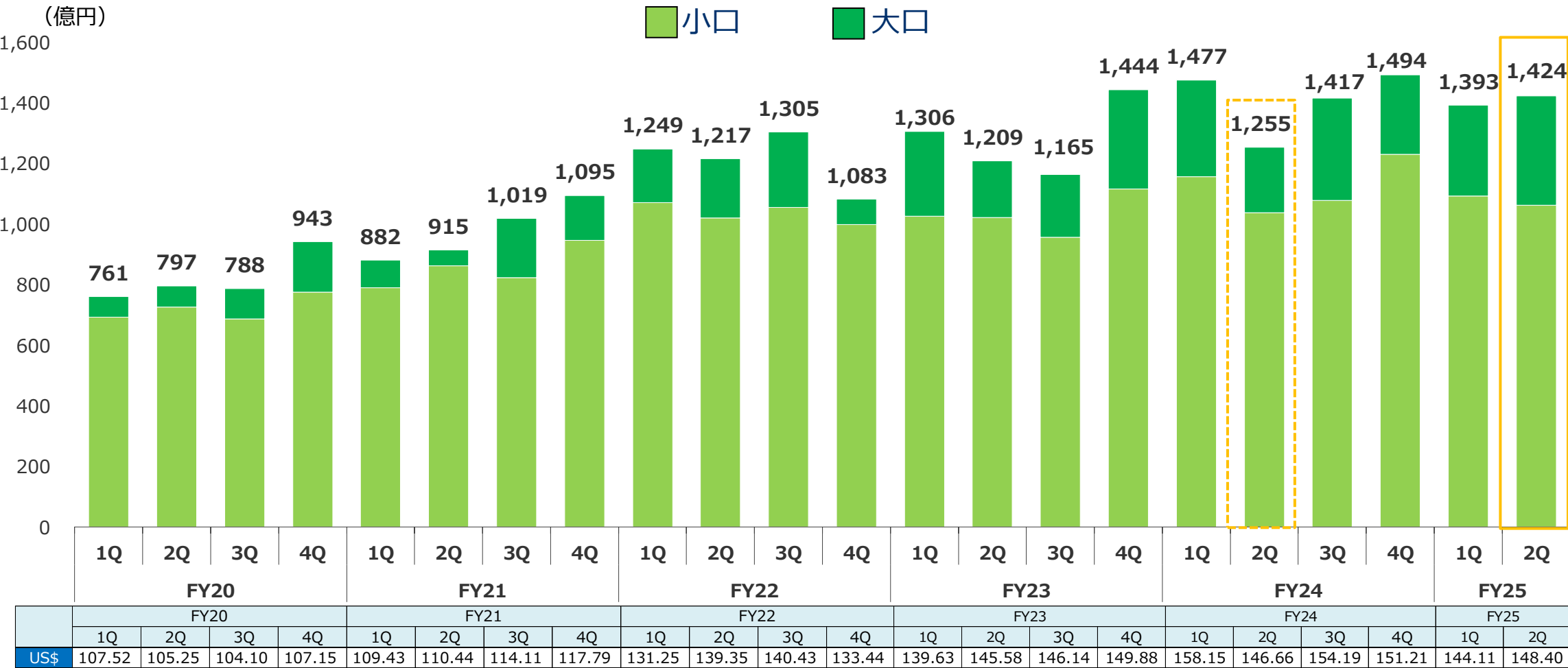


補足：制御サブセグメント別 受注残推移



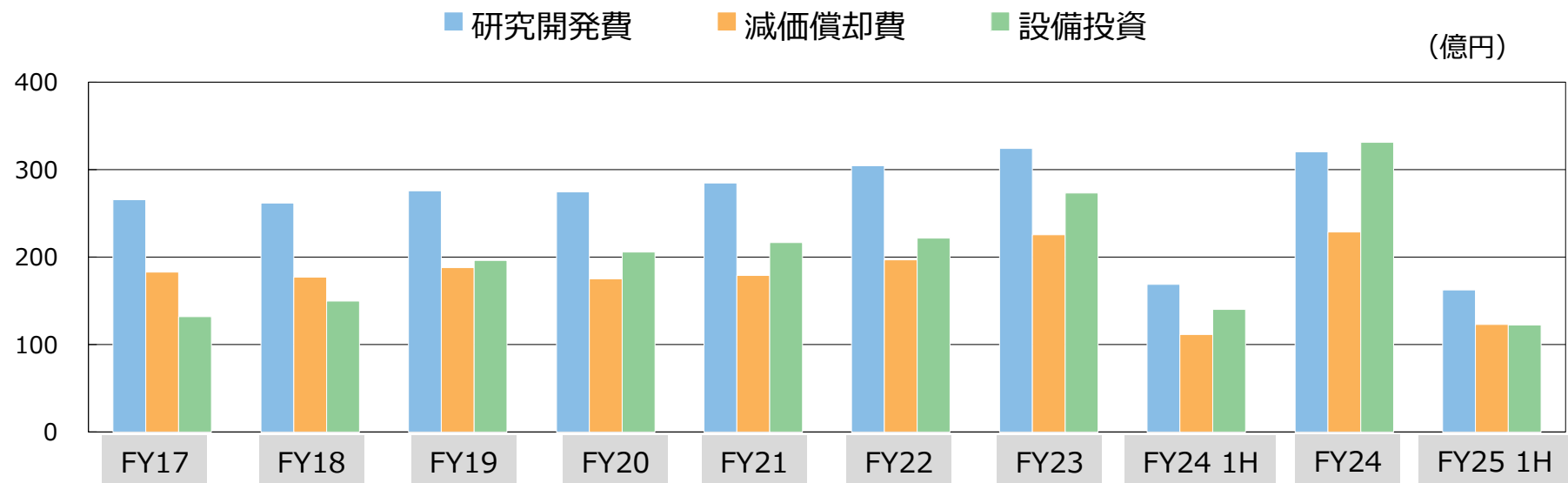
補足：制御ビジネス規模別 受注推移

約 3 億円*以上の大口比率は15-20%程度
* 3MUS\$



※小口：3億円/3MUSD未満の受注。主にMROやSystem upgradeなどのOPEX
大口：3億円/3MUSD以上の受注。主にシステムの導入などのCAPEX

補足：研究開発費・減価償却費・設備投資

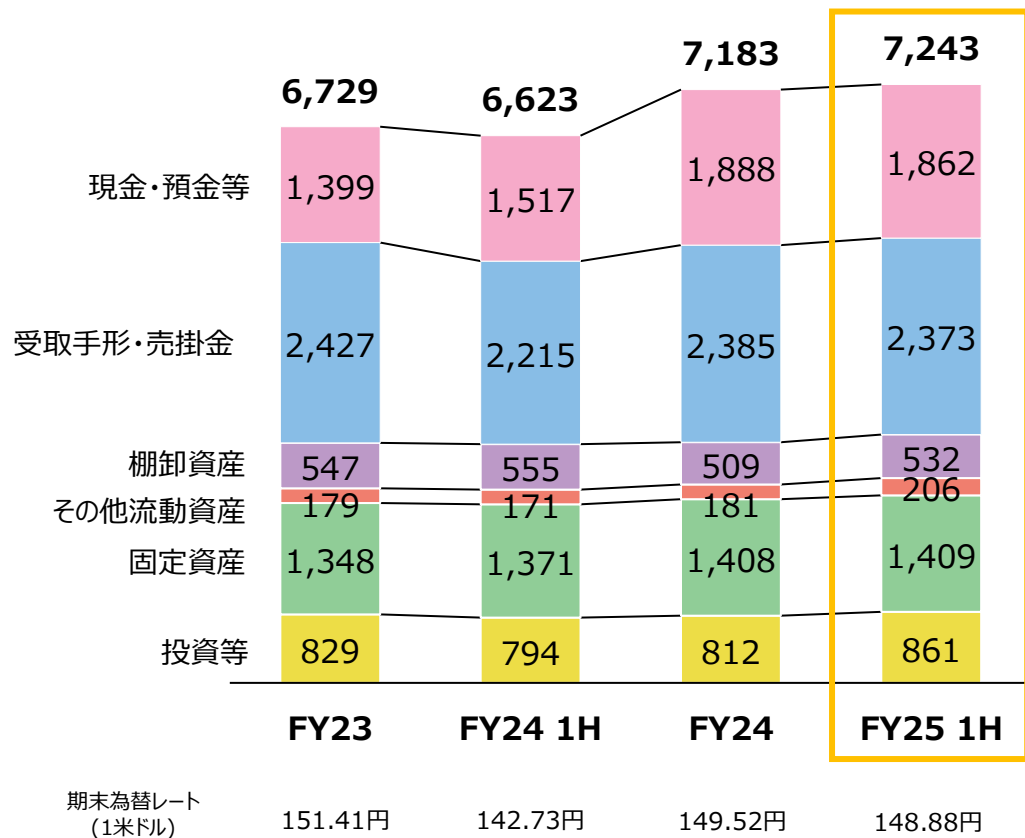


	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY241H	FY24	FY251H
研究開発費 (対売上高比率)	266 6.5%	262 6.5%	276 6.8%	275 7.3%	285 7.3%	305 6.7%	324 6.0%	169 6.3%	321 5.7%	162 5.8%
減価償却費 (対売上高比率)	183 4.5%	177 4.4%	188 4.6%	176 4.7%	179 4.6%	197 4.3%	226 4.2%	111 4.2%	229 4.1%	123 4.4%
設備投資 (対売上高比率)	132 3.2%	150 3.7%	※196 4.9%	206 5.5%	217 5.6%	222 4.9%	274 5.1%	140 5.3%	331 5.9%	122 4.3%

※FY19よりIFRS第16号（リース）を適用

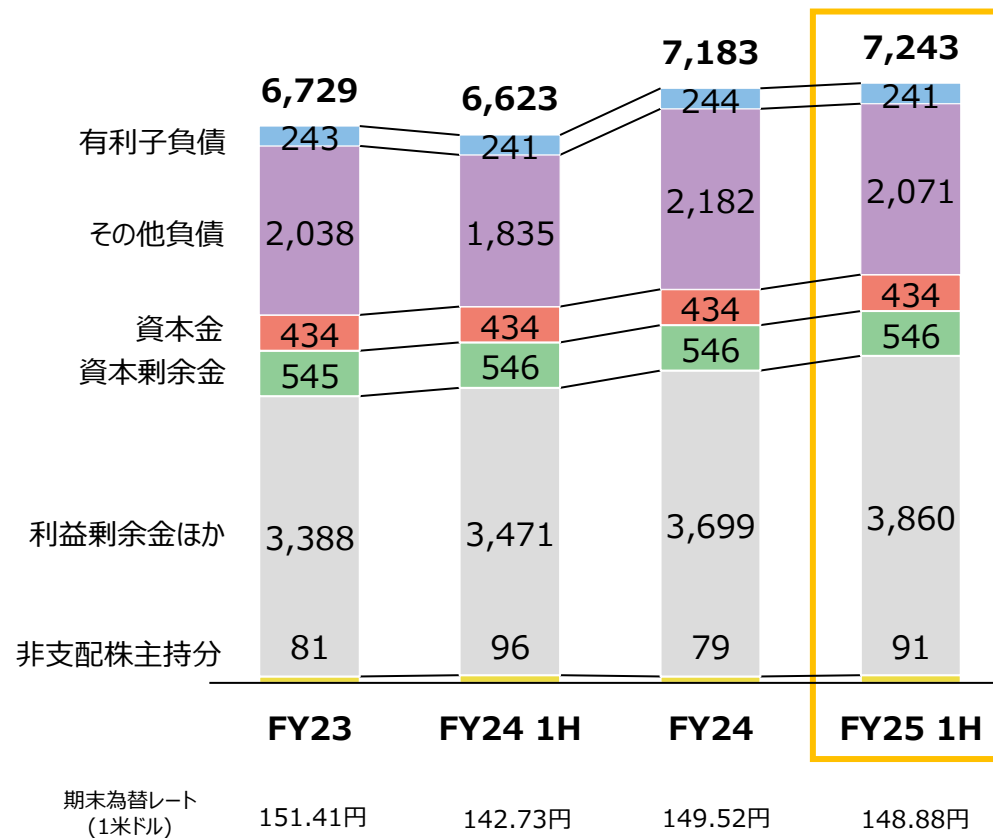
補足：貸借対照表

資産

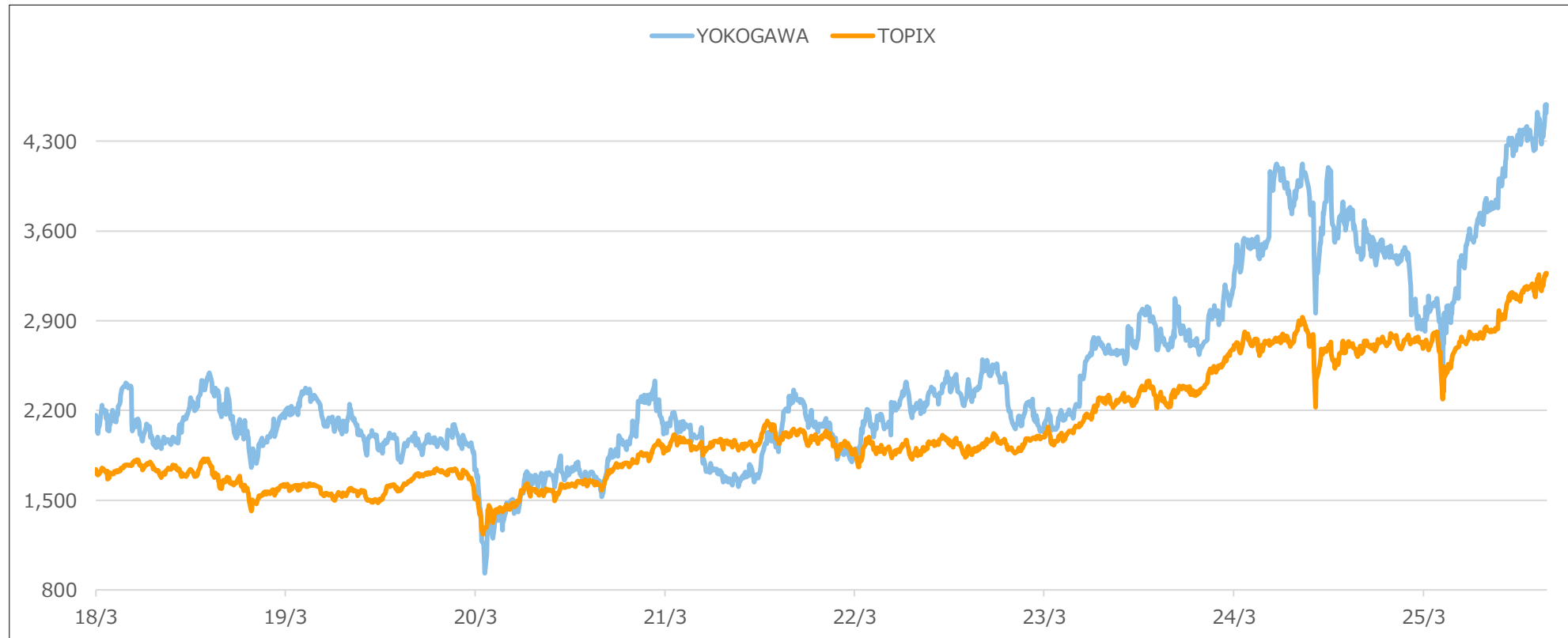


負債・資本

(億円)



ご参考：株価の状況



(¥)

	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/10/24
YOKOGAWA	2,198	2,291	1,303	2,038	2,099	2,150	3,494	3,890	3,655	3,398	2,893	3,855	4,255	4,586
TOPIX	1,716	1,592	1,403	1,954	1,946	2,004	2,769	2,810	2,646	2,785	2,659	2,853	3,138	3,269

2026年3月期 第2四半期決算説明会

GS2028取り組みの状況 ～成長を加速させるための中期経営計画～

重野 邦正

取締役 代表執行役社長

2025年11月4日

現状認識

堅調なエネルギー需要を背景に、お客様の投資意欲は高い状況が継続 米国関税政策による不透明感是一部後退するも、依然としてリスク要因は多い

地域

中東：引き続き旺盛な投資意欲、AIやセキュリティ、省人化等のDXソリューションへの要求も強い **インド**：インフラ投資が活発な一方で競争は厳しい
北米：回復傾向だが、資材・人件費高騰は懸念材料 **中国**：景気低迷が継続、不安定な状況が続く
欧州・東南アジア：堅調に推移、CCS/CCUSへの投資にも期待 **日本**：安心・安全、生産性向上投資が引き続き堅調

業種

Upstream・Downstream：中長期ガス需要が投資牽引、DX投資も活発。CCS/CCUS付帯での引き合いが増加
Renewable：引き続き欧州で取組みが活発。ベース電源として原子力に再脚光の一方、従来型発電も投資継続の動き
Water：水需要は長期的に堅調。海水淡水化や上下水道の広域管理への投資、水リサイクルに向けた取り組み等が活発化
Chemical：高機能化学市場の広がりの中でAIデータセンターや車載用半導体向け素材、バッテリーへの投資が継続的に拡大
Mining：銅やレアメタルの需要が継続。食料需要を背景にリン鉱石の需要増継続の一方で、EV需要には停滞感
Pharma, Food&Beverage：バイオ医薬品市場の拡大、データ完全性確保のためのソリューションの引合が増加。食糧需要も増加継続

リスク

- ・米国関税政策に起因した経済停滞
- ・不安定な国際情勢
- ・為替相場の急激な変動

海外売上高比率

FY24-1H	75.3%
FY25-1H	73.7%



Growth for Sustainability 2028

取り組みの状況

サウジアラビアの首都緑化プロジェクト「グリーン・リヤド」に 首都インフラを統合管理するシステムを提供

- グリーン・リヤドは、サウジアラビア政府が推進する国家プロジェクト
- 都市緑化を通じて、首都リヤドを世界有数の住みやすい都市へと変革
- 2030年までに、750万本の木を公園、公共施設、医療センター、道路に植え、緑化により、大気の質を改善し、都市の気温を下げ、電力消費を削減するとともに、住民のより健康的で活気のあるライフスタイルを促進。環境、経済、社会の持続可能性を目指す
- YOKOGAWAは、首都インフラの統合監視・制御システムの提供を通じて本プロジェクトの成功を支援



リヤド市、サウジアラビア

※ グリーン・リヤド：Saudi Vision 2030 – Green Riyadh project
<https://www.vision2030.gov.sa/en/explore/projects/green-riyadh>

GS2028基本戦略：業種対応力の強化（再生可能エネルギー）

Intellisync社とWiSNAM社を買収し サイバーセキュリティおよびグリッド管理ソリューションの提案力を強化



- エネルギー分野においてITとOTを橋渡しするエンドツーエンドのソリューションを提供
- SaaSおよびリカーリングビジネスのポートフォリオ強化

YOKOGAWAが強化すべきポイント

強化ポイント1



お客様のビジネス・利益に貢献し信頼を勝ち取る

- 営業フロント機能の徹底的な強化、提案型人財の増強
- もっとお客様のそばで、お客様と同じ視点で市場・ビジネスを見つめ、トラステッドパートナーへ

強化ポイント2



本社と拠点の役割を明確にしトランスナショナルなオペレーションを実践

- CoE* は一番ホットな市場に置き、ソリューションの企画・開発をスピーディーに
- 本社はコアとなる製品の企画・開発と、ソリューションのグローバル展開・ガバナンスをサポート

強化ポイント3



製品競争力を徹底的に強化し、ソリューションのポートフォリオも一層充実

- 既存製品群への投資加速による徹底的な競争力強化
- 上記のお客様視点、CoE体制によるソリューションポートフォリオの徹底強化

強化ポイント4



チャレンジを後押しする企業風土の醸成

- 確実に達成できる目標の設定よりも、お客様やステークホルダーにとって真に価値のある、高い目標に挑戦する人や組織を支援し、評価する

「実行」を重視

シノペックエンジニアリングと グローバルEPCプロジェクトに関する協力覚書を締結

- SEGとYOKOGAWAは、これまでも中国国内で多数の石油精製所やエチレンプラントのプロジェクトを協力して実施
- 今回の協力覚書により、両社は世界各地のEPCプロジェクトでの協力体制を強化
- インダストリアルオートメーションの高度化や地理的範囲の拡大において大きなメリット
- SEGは、シノペックグループ傘下のエンジニアリング会社であり、石油精製所や石油化学プラントの設計・建設を中国内外で実施
- YOKOGAWAは、中国国内外のプロジェクトにおいて制御システムおよび安全計装システムとその関連サービスを提供



サウジアラムコと横河電機が大規模ガス製造プラントに 相互に連携する複数の自律制御AIを導入

- YOKOGAWAの強化学習AIアルゴリズムFKDPP*を採用
- 複数のFKDPPが相互に連携し、ファディリ・ガスプラントの酸性ガス除去ユニットの運用最適化に成功し、エネルギーと化学物質の使用量を削減
- これまでの評価期間において、アミンおよび蒸気の使用量が10～15%、電力使用量が約5%削減され、オペレータの手動介入も大幅に減少。現在も評価を継続中

*FKDPP: Factorial Kernel Dynamic Policy Programming。
横河電機と奈良先端科学技術大学院大学が共同開発したアルゴリズム



AIが導入された、サウジアラムコのファディリ・ガスプラント
(写真提供：サウジアラムコ)

変わらぬ価値と新たな革新を

— CENTUM Futureへの第一歩 —

変わらぬ価値

- ◆ 信頼性・安定性・継承性
- ◆ 強固なセキュリティ
- ◆ 万全のエンジニアリング・サービス体制

新たな革新

- ◆ 制御・操作監視範囲の更なる拡大
- ◆ プロセスの状態把握による予兆検知
- ◆ 経験知とAI技術を融合したプラント操業



■ 横河計測の主要 2 製品がAIデータセンター建設に伴うビジネスニーズをとらまえ好調

AIデータセンター需要により急増する光通信装置や電源装置などの開発・性能評価・生産プロセスに、YOKOGAWAの高性能・高確度の計測器が数多く採用

■ CENTUM 誕生50周年

■ 10世代目となる「CENTUM VP R7」を発売

CENTUM自身が変化に対する学習能力や適用能力を持ち、人の介在なしに最適かつ安全安心なプラント操業を持続する、AI時代のプラットフォームへと進化させていく



光スペクトラムアナライザ



パワーアナライザ

測る力とつなぐ力で、 地球の未来に責任を果たす。

**Utilizing our ability to measure and connect,
we fulfill our responsibilities for the future
of our planet.**

「測る」は、YOKOGAWAの原点であり起点です。ものごとを測り、今ある状態をとらえ、見通し、そこから導き出される情報に価値を見出してきました。また「つなぐ」は、YOKOGAWAが価値ある情報を結びつけるだけではなく、さまざまな産業におけるお客様との信頼関係を築き、企業と企業、産業と産業の結束点となって、さらに価値を共鳴させていくことを意味しています。

「測る力とつなぐ力」はYOKOGAWAが決して失うことのないコアコンピタンスです。その力を今日の社会課題の解決に生かし、人と地球が共生する未来をかなえたい、そうした思いを「地球の未来に責任を果たす」というコミットに込めました。

参考資料

- ・トピックス
- ・採用されているESG関連インデックスなど

ご参考：FY25 トピックス（提携・買収／受注／研究開発）

※日付は発表月です
※詳細はウェブサイトをご覧ください <https://www.yokogawa.co.jp/news/>

提携・買収

- 4月 ITとIT/OT統合ソリューションを提供するWeb Synergies社を買収
- 6月 精工集団と包括的な戦略的協業契約を締結
- 10月 シノベックエンジニアリングとグローバルEPCプロジェクトに関する協力覚書を締結
IntellisyncとWiSNAMを買収し、サイバーセキュリティおよびグリッド管理ソリューションの提案力を強化
～再生可能エネルギーと脱炭素化に向けたデジタルハブの構築～

受注

- 9月 トヨタ自動車と有人圧ローバー向け制御プラットフォームなどの研究開発契約を締結
～持続的な月面探査への挑戦に貢献～
- 10月 サウジアラビアの首都緑化プロジェクト「グリーン・リヤド」に首都インフラを統合管理するシステムを提供
～世界有数の住みやすい都市へと変革する国家プロジェクトに貢献～

研究開発

- 9月 AIによる温度設定計画で京都の地ビールの発酵工程を最適化する実証実験に成功
～香りも含めた品質を維持したまま、発酵時間を28%短縮～

ご参考：FY25 トピックス（新製品・ソリューション／その他）

※日付は発表月です

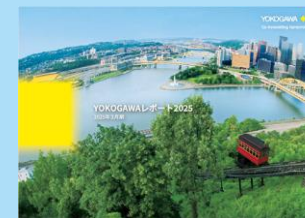
※詳細はウェブサイトをご覧ください <https://www.yokogawa.co.jp/news/>

新製品・ソリューション

- 5月 【横河計測】新製品 高速データアキュイジションユニット「SL2000」を開発・発売
- 6月 統合生産制御システム「CENTUM VP」の次世代モデルを発表
～世界初の分散形制御システムの発表から50周年 幅広い技術を統合して安全安心でサステナブルな自律操業を実現するCENTUMへ～
プラントメンテナンス向けロボットとAI技術に関してシェルと協業
～設備の健全性管理における業務の合理化とリスクの軽減に向けて～
- 8月 匠の思考プロセスを再現するYOKOGAWAの荷積み計画AIが計画立案作業を大幅に短縮
～積み方の制約、届け先の荷下ろし場や働く人への配慮も含めて最適化～
- 10月 サウジアラムコと横河電機が大規模ガス製造プラントに相互に連携する複数の自律制御AIを導入
～酸性ガス除去ユニットの運用最適化に成功し、エネルギーと化学物質の使用量を削減～
産業用IoT向け無線ソリューション「Sushi Sensor」の新製品 4ch無線振動センサを開発・発売
～設備監視の対象拡大と設備診断の支援で、保全業務のDXに貢献～

その他

- 4月 YOKOGAWAグループのAIポリシーおよびグループAIガバナンス規程を策定
- 6月 分散形制御システム「CENTUM」誕生50周年を迎える：パイオニア精神の成果
- 9月 製品ライフサイクルにおけるサステナビリティ指針として「Trusted Green」を策定
「YOKOGAWAレポート2025」および「YOKOGAWAサステナビリティレポート2025」を発行



YOKOGAWAレポート



YOKOGAWAサステナビリティレポート

ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2025年10月現在

Dow Jones Best-in-Class Asia Pacific Index
FTSE4Good Index Series
FTSE Blossom Japan Index
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
MSCI ESG Ratings AAA
MSCI Selection Indexes
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数
MSCI 日本株 女性活躍指数
ISS ESG - ESG コーポレートレーティング Prime
Sustainalytics Top-Rated ESG Regional Performer
CDP気候変動・水セキュリティ Aリスト
CDPサプライヤー・エンゲージメント・リーダー
SNAMサステナビリティ・インデックス
S&P/JPXカーボンエフィシエント指数
EcoVadis サステナビリティ調査 シルバー
Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）



2025 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



ESGインデックス、社外からの評価の詳細につきましては、当社ウェブサイトをご参照ください。
<https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の用件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。
(決算短信とは軽微な相違があります)

横河電機株式会社

IR部

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

Co-innovating tomorrow™